

所報

題字：武田満之校長（平成9年、野幌中学校）

第172号 令和5年1月31日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町 24-6 TEL381-1058

（主な内容）

- ・「スポーツ・トライ教室」普及出前授業実施報告
- ・第2回小学校外国語教育指導指導連絡協議会実施報告

「スポトラ」普及出前授業実施報告

江別市では児童生徒の体力向上を図る目的で、北翔大学の協力を得て、平成25年度より、令和3年度まで遊びの要素を取り入れた運動「朝運動プログラム」の実践を進めて参りましたが、市内小学校の輪番による実施で、子どもたちの運動への関心を高めるなど、大きな成果をあげてきましたが、令和3年度で、輪番による実践も2巡目が終了し、取組の更なるステップアップを目指す転換期となりました。

そこで、これまでの取組の流れを継承させながら、各校の実態に即した実践を展開するための企画として、今年度より「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（通称：スポトラ）」を、新たにスタートさせていくこととなりました。



野幌若葉小での「切り替えダッシュ」の様子

後期実施となった出前授業は、11月10日（木）の野幌若葉小学校を皮切りに、11月30日（水）に江別第二小学校、12月8日（木）に大麻西小学校、12月14日（水）に大麻小学校と、感染症の影響を受けることなく4校で予定通り実施することができました。

「江別がときめくスポーツにトライ大作戦（通称：スポトラ）」では、春に実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、明らかになった課題を、各校から強化項目として上げてもらい、「楽しく学ぶ」をコンセプトに、それに応えるメニューを、遊びの要素を取り入れながら北翔大学の宮先生に提供して頂きました。

学習内容は、走力を高めるための運動として、ダッシュ運動に、瞬発力をジャンプ運動や、体幹力を高める方向転換運動を取り入れた「切り替えダッシュ」、ボールを投げる力と同時に走力を高める運動として、新聞紙にスズランテープをつけて、移動しながら投げる「流れ星!」、キック力と走力を高めるためにリレー形式で、キックパットを繋いでいく「キック&ダッシュ」、下半身全体を鍛え、前に進むための筋力をアップしたり、体の動きの方向性をコントロールするのに必要な上半身の筋力をアップするキックパットによる「パット de スタートダッシュ（雑巾がけ運動）」等の取組を紹介して頂きました。



江別第二小での「キック&ダッシュ」の様子

今回、紹介して頂いた実践は、どんな運動機能を高めるための活動なのか、一つ一つの目的がしっかりと示されており、これからの指導における大きなヒントになっていたと思います。確かな運動能力の伸長につなげていくために、体育授業を中心とした教育活動に、これらの取組を継続的につなげていくことが大切だと、強く感じました。



大麻西小での「流れ星」で、ボールを投げる様



大麻小での「パット de スタートダッシュ」の

「第2回 小学校外国語教育指導連絡協議会の報告」

1月26日（木）に、今年度2回目の小学校外国語教育指導連絡協議会が開催されました。協議会の中で話し合われた内容は、「今年度の事業の反省」と、「次年度の事業計画について」で、事前調査で提出いただいた意見を基に、協議は進められていきました。

今年度の成果としては、指導方法の共有や、授業準備の軽減化を図るため、市内で共有できるデータシステム体制が確立（ワークシート、指導案、自己評価票等）されたことがあげられ、次年度の活動の方向性については、「1：評価方法共有化を図る工夫」、「2：学習内容の定着に向けた書く指導の工夫」、「3：小中一貫教育を意識した連携」等の課題解決に向けた対策として、事前に各校から頂いた意見から、下記のような内容をまとめる事ができました。

<課題解決に向けた次年度の方向性について>

- 1 評価方法共有の工夫について
 - 1) 石教研の教育課程に合わせた評価規準（3観点の達成度）もとにした評価の推進
 - 2) 評価規準（3観点）を見取るための手立ての共有化の推進
 - ① 紙テスト、パフォーマンステスト等による達成度の評価
 - ② 学習後のワークシートへの記録の読み取りによる評価
 - ③ 日常活動の様子からの読み取りによる評価
- 2 学習内容の定着のため「書くこと」の指導を充実させる工夫について
 - 1) スモールステップ～抵抗なく「書くこと」を習慣づけていくためには、学年や発達段階を考慮した系統的な支援計画を、各校が意図的に作成
 - 2) 日常的な学習活動の中に反復学習を意識的に位置づけ
 - ① 意見を発表する際、英文をワークシートに書いてまとめてから発表を定着化
 - ② デジタルドリル等を活用したスペルの反復学習、
 - ③ 曜日、月、数字の練習ができる用紙の常備（家庭学習等での反復学習）※ ウォーミングアップ等で、ALTと協力した反復学習の位置付け
 - 3) 授業実践における積極的な用具等の活用による定着化
 - ① ワークシートへのまとめの記述をファイリング（振り返り含、記録化）
 - ② タブレットなどへの打ち込み作業による定着。
- 3 小中一貫教育を意識した連携の工夫について
 - 1) 小中学校間での積極的な交流授業の企画・実施による指導方法等の連携強化
 - 2) 中学校区毎の定期的な会議の企画運営等による連携強化
 - 3) 学力等の情報の引継ぎ・共有～到達目標等のギャップの解消・学習内容の共通理解